

日交研シリーズ A-776

平成 31 年度自主研究プロジェクト

「高速道路と新幹線の建設および都市集積の経済分析」

刊行：2020 年 6 月

九州新幹線が都市集積の地価に与える影響の分析

Impacts of high-speed rail construction on land prices in urban agglomerations

: Evidence from Kyushu in Japan

主 査 田 淵 隆 俊 (東京大学教授)

Takatoshi TABUCHI

研究担当者 岡本千草 Chigusa Okamoto (東京大学特任研究員)

佐藤泰裕 Yasuhiro Sato (東京大学教授)

要 旨

新幹線は遠方の都市や地域を結ぶ重要な交通機関である。こうした都市や地域のつながりの強化は経済活動の分布に大きな影響を与える可能性がある。本稿は、九州新幹線の部分開業と全面開業というイベントに注目し、九州内の地域間の経済活動の分布がどのように影響を受けたかを分析する。方法としては、ヘドニックアプローチを用い、difference-in-differences 分析により、イベントの効果を推定する。分析の結果、新幹線の開業により、九州内の大きな都市に経済活動が集積し、特にその中心部分で地価が上昇したことが分かった。一方で、小さな都市からは経済活動が逃げてしまい、そこの地価は下落したことが分かった。

キーワード：新幹線、地価、ヘドニックアプローチ、都市集積

Keywords : High-speed rail, Land price, Hedonic approach, Urban agglomerations